

— 団地プロデュース型コミュニティ再生計画 —

愛宕第2住宅 (旧みずほATM) に コミュニティスペースを!



多摩ニュータウンで暮らし続けるしくみをつくる会

テーマ：「交流拠点の機能と配置案」

2/26 (土) 10:00~12:00 (9:30 開場)

愛宕かえで館・2Fホール ※定員50人※



かつて、たくさんの人の声が響いていたこの場所を、
この地域を愛する誰もが、明るく、豊かに、楽しく、のびのびと暮らすための
新しい交流拠点として、新しい声が響き合う、新しい場所に。
そんなプロジェクトと一緒に参加しませんか。



◀「多摩ニュータウン50年 団地再生 住民の手で」と題して、3月30日付けの『読売新聞』に当法人の取り組みが掲載されました。

要予約

お申込・お問い合わせ先

一般社団法人コミュニティネットワーク協会

連絡先 080-3702-9992

E-mail support@100com.jp

～コロナ感染拡大防止徹底にご協力をお願いします～

愛宕コミュニティプレイス（仮称）がめざすもの

ふらりと立ち寄ってもいいし、誰かに会いたくて足を運ぶのもいい。
子どもから高齢者まで、生き難さを抱えた人も、色んな人たちが集まってきて、緩やかにつながりほっとする場。
利用者として、あるいは一緒に仕事をしたり、ボランティアしたり…。
松が谷コミュニティプレイスと連携・連動して、行ったり来たりしながら、
楽しくて、美味しくて、ワクワクして、元気になる、そういう時間と空間を一緒に創っていきたいと思います。



第1回「地域住民説明会」

日時：2021年10月24日(日) 14時~16時
場所：愛宕かえで館ホール
参加：23人

【みなさんから出されたご意見・ご提案】

- ・エレベーターがない建物がほとんど。若いうちは気にならなかったが、体力的に負荷が高い
- ・都営団地の高齢化率は60%で多摩市トップ。認知症も増加傾向。亡くなる人も目立つ。対策を
- ・交通手段の多様化と、地域で暮らす人たちの相互のたすけ合い。これまで築いてきた地域の関係性を深めていくことが大切になっている
- ・商店街がないので買い物が不便
- ・多世代が横につながるしくみ
- ・コロナ後も住み続けたいなる取り組み
- ・若い人をいかに呼び込むか。高齢化に対応した生活支援や相談対応と空き店舗活用。資源を時代にマッチしたものに



第2回 テーマ「あったらいいな」

日時：2021年12月11日(土) 14時~16時
場所：愛宕かえで館ホール
参加：31人

【みなさんから出されたご意見・ご提案】

- ・カフェ～飲食できる場がほしい。子どもや若い人も来やすい場所づくり
- ・夜はアルコールが飲めるといい。やきとりがほしい
- ・自販機をおいてほしい。飲食+ラーメンやパスタの自動販売機も
- ・買い物が不便なので、ちょっとしたものが置いてあるショップがほしい
- ・相談コーナーがほしい。介護や見守りを重点に。子どものひきこもりへの関わりも
- ・楽しみを生む場所に
- ・移動の課題を解決したい